

# 社協だより

2019.1  
第162号

【発行】社会福祉法人 四国中央市社会福祉協議会  
四国中央市三島宮川4丁目6番55号

本所・TEL:0896-28-6127 FAX:0896-24-8009  
川之江支所・TEL:0896-28-6237 FAX:0896-56-5447  
土居支所・TEL:0896-28-6351 FAX:0896-74-1435  
新宮支所・TEL:0896-72-2774 FAX:0896-72-3010  
社協だよりは、皆さまからお寄せいただいた  
社協会費と共同募金の配分を受け作成されています。

● 今月のトピックス ●  
新入学祝い金申請のお知らせ  
地域から孤立をなくそう講演会  
福祉サービス利用援助事業の紹介  
障がい者相談支援事業の紹介  
子どもの緊急救命に関する講習会

## 謹んで新春の

## お慶びを申し上げます



市民の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、社会福祉協議会の活動に、格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

さて、昨年七月に発生しました「平成三十年七月豪雨災害」では、愛媛県内においても複数の市町で川の氾濫や土砂災害が発生し、市街地から山間部まで広範囲に被害を受けました。

社会福祉協議会におきましては、災害発生時より、市当局と連携を密にし、南予地域への職員派遣をはじめ、ボランティアバスの運行など被災地の支援に取り組んでまいりました。一日も早い災害からの復興を心からお祈りいたします。

私たちの活動は、地域の実情に合わせた医療・介護との連携や地域課題の把握、それを地域支援につなげていくために、地域内の住民の合意形成、いかに地域課題を我が事と捉えてくれるのか、住民も参加する仕組みづくりに、つながっていかねければなりません。

これからも地域の福祉関係者の皆様と連携しながら、地域の人々が共に支えあう福祉のまちづくりを目指して、効果的な支援とともに、社会福祉協議会としての特性を活かす取り組みを推進して参りますので一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新春を迎えるにあたり、市民の皆様方の益々のご健康とご多幸を心から祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

平成三十一年 新春

四国中央市社会福祉協議会  
会長 高橋 厚徳

役員 一同

## お知らせ 新入学祝い金の申請について

### ～ 赤い羽根共同募金配分事業 ～

平成31年度に小学校、中学校等に入学されるお子さんを養育している母子家庭、父子家庭等の方に入学祝金を支給いたしますので、対象になる方は下記のとおり申請して下さい。

- 【対象】 ①平成31年4月に小学校、中学校または特別支援学校（小・中学部）等に入学されるお子さんを養育している市内在住の母子家庭、父子家庭  
②両親がなく、平成31年4月に小学校、中学校または特別支援学校（小・中学部）等に入学されるお子さんを養育している市内在住の祖父母等

【基準日】 平成31年1月1日（火）時点で上記対象に該当する世帯

【金額】 小学校に入学されるお子さん：（1人につき）5,000円  
中学校に入学されるお子さん：（1人につき）7,000円

【申請】 申請用紙に必要事項を記入の上、社会福祉協議会本所または支所に提出して下さい。  
申請用紙は社会福祉協議会本所・支所で配布します。または、社会福祉協議会ホームページ（インフォメーション内のリンク）からもダウンロードできます。

【申請期間】 平成31年1月7日（月）～平成31年2月18日（月）17時

【問い合わせ】 社会福祉協議会 総務・地域福祉課 Tel.28-6127



# お知らせ 地域から孤立をなくそう講演会を開催します

生活相談支援センターでは、地域から孤立して生活困窮状態にある地域住民や家族、支援者からの相談が増えております。

今回、全国各地で「ひきこもり」について取材を続け、ひきこもり状態にある方々や働きづらさを抱えている方々の声や支援現場の様子を真摯な姿勢で発信し続けているジャーナリストの池上正樹氏をお迎えし、「ひきこもり」「8050問題」についての理解を深める事を目的に講演会を開催いたします。多くの方々の御参加をお待ちしております。

演 題 「ひきこもりの長期化と高齢化」  
～取材現場から見てきた 8050 問題を考える～

講 師 ジャーナリスト 池上 正樹 氏

日 時 平成 31 年 1 月 26 日 (土) 13:30 ~ 15:30

場 所 四国中央市福祉会館 4 階多目的ホール

参加対象者 地域住民、地区社協・民生児童委員・福祉保健  
医療関係者 ※入場無料



## 講師プロフィール

通信社などの勤務を経てジャーナリスト。20 年以上にわたって「ひきこもり」界隈の取材を続ける。TV やラジオにも多数出演。KHJ (Kazoku Hikikomori Japan) 全国ひきこもり家族会の発足当初からサポートをしている。主な著書に『ルポ ひきこもり未満～ルールから外れた人たち』(集英社新書)、『大人のひきこもり』(講談社現代新書)、『KHJ 地域におけるひきこもり支援ガイドブック』(金剛出版 / 共著) などがある。現在、ダイヤモンドオンラインにて『「引きこもり」するオトナたち』を連載中。

## ～生活相談支援センターとは～

平成 27 年 4 月「生活困窮者自立支援法」が施行されたことを受け、社会福祉協議会に生活相談支援センターが開設されました。

センターには、心身の不調や失業、就労の課題、家計問題、社会的に孤立しているといった幅広い相談が寄せられています。そのような悩みごとについて、相談支援員が寄り添い、地域で自立した生活を送ることができるよう問題の解決方法を一緒に考えながら支援しています。また、問題解決に向けて多職種との連携も積極的に行っています。

電話・来所・訪問相談を行なっています。ひとりで悩まず、まずは御相談下さい。



【問い合わせ】 社会福祉協議会 生活相談支援センター Tel 28-6101

## 紹介 ご存知ですか？福祉サービス利用援助事業

現代の福祉サービスは、自らが選択し、契約を結んで利用する仕組みです。

しかし、判断能力に不安がある方は、どのような福祉サービスがあるのか、どのようにすれば福祉サービスを利用できるのかなど、さまざまな場面で判断に迷い、適切に福祉サービスを受けられない場合があります。

そのような方々が安心して生活を送れるようお手伝いする事業を『福祉サービス利用援助事業』といいます。

### どのような人が利用するの？

福祉サービスの利用や日常的な金銭管理について、ご自分の判断に不安を感じている方です。

例えば、認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者などの方々の中で、次のようなことでお困りの方です。

- 福祉サービスを利用したいけど利用方法がわからない。
- 毎日の暮らしに必要なお金の出し入れに自信がない。
- お父さん、お母さんがいなくなった後の生活が心配だなぁ。
- 物忘れが多く、大事な物をどこに置いたのか分からなくなってしまう。



【問い合わせ】 社会福祉協議会 総務・地域福祉課 Tel 28-6127

# 紹介 障がい者相談支援事業を行っています

社会福祉協議会 障がい者相談支援センターでは、平成23年4月より障がいのある方の相談支援を行っています。

## 相談支援事業について

- ・障がいのある方やご家族からの相談に応じて、障害福祉に関する情報提供や助言を行い、関係機関（福祉・就労・保健・医療等）の各サービスとの連絡調整をします。
- ・一人ひとりのニーズ（生活課題・希望する生活）や目標に合わせて、面談等を通じ、障害福祉サービス等の利用についてのご案内をしています。また、利用中の福祉サービスが適切か、利用状況の検証・効果の分析、評価を行います。
- ・相談は無料。面談時にお話しいただいた内容につきましては、秘密を厳守いたします。

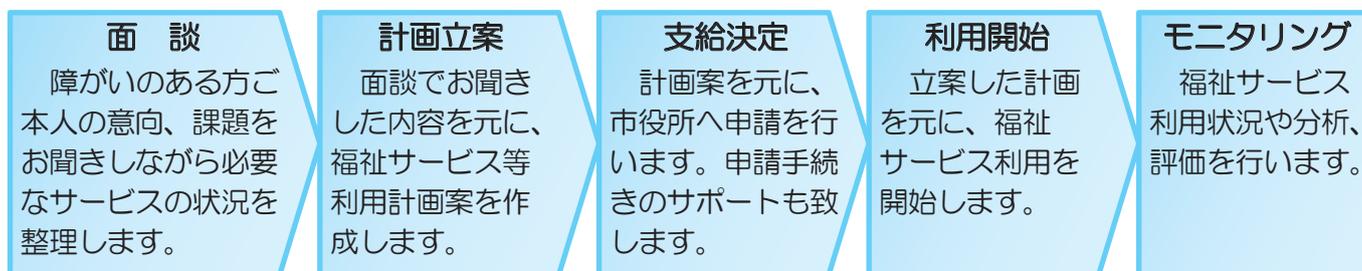


## 対象となる方

- ・障がいのある方、そのご家族・ご親族、その他
- ・障害福祉サービス等が必要な、身体・知的・精神・発達・高次脳機能障がい、難病の方

## 相談の流れ

- ・直接事務所に来所されても相談対応できますが、あらかじめ予約をとっていただくと面談がスムーズに行えます。必要に応じて、基幹相談支援センター（当市の障がい者総合相談窓口）をご紹介します場合があります。



近年、80代の親が50代の子の生活を支えられなくなる状態（8050問題）が社会に広がっており、その背景には、親の体力の衰え、子のひきこもりや障がいなどがあるとされています。詳しい内容については、右頁の講演会で取りあげられます。



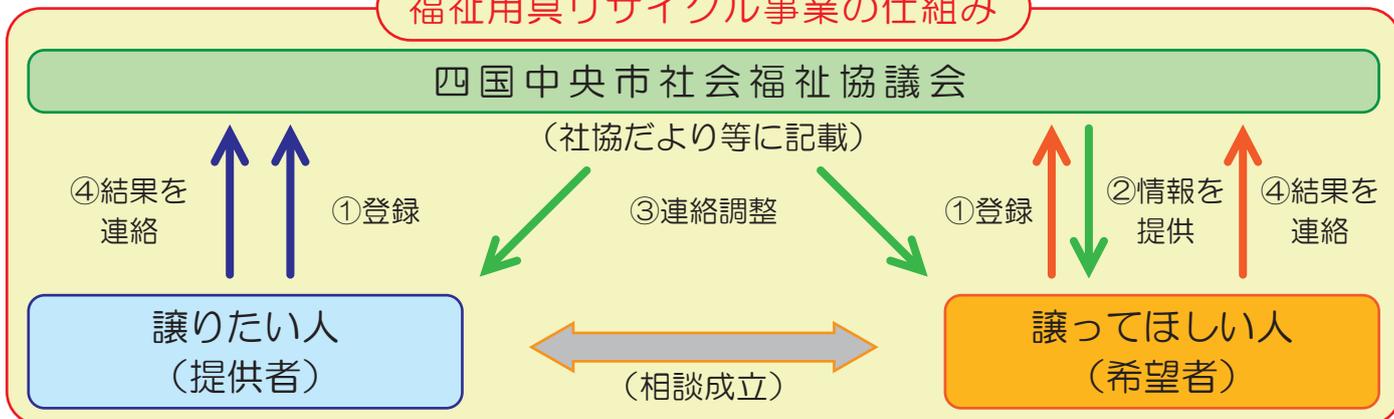
【問い合わせ】 障がい者相談支援センター Tel28-6135

# 情報 福祉用具リサイクル情報

（12月10日現在）

この事業は、現在使用されていない福祉用具の活用と地域住民相互のふれあいを促進し、地域福祉の向上を図ることを目的に実施しております。ご家庭で不要な介護機器（主な機器としては車椅子（できれば軽いもの）、ベッド、歩行器等です）がありましたら社会福祉協議会（Tel28-6127）までご連絡ください。

## 福祉用具リサイクル事業の仕組み



ゆずります

シルバーカー 1台 電動シルバーカー 2台  
ポータブルトイレ 4台

ゆずってください

車イス 7台 シルバーカー 1台 電動シルバーカー 6台  
歩行器 1台

## 1月の法律相談予定日

川之江会場：川之江文化センター 1階  
1月7日・15日（受付：13:00～15:00）  
三島会場：福祉会館 1階  
1月10日・18日（受付：8:30～11:00）  
土居会場：土居福祉センター 1階（※要予約）  
1月23日（相談時間：13:30～15:30）

---

川之江会場：川之江文化センター 1階  
2月5日（受付：13:00～15:00）

## 1月の司法書士相談予定日

川之江会場：川之江文化センター 1階（※要予約）  
1月9日（相談時間：13:00～16:00）  
三島会場：福祉会館 1階（※要予約）  
1月4日（相談時間：13:00～16:00）  
土居会場：土居福祉センター 1階（※要予約）  
1月16日（相談時間：13:00～16:00）

---

三島会場：福祉会館 1階（※要予約）  
2月5日（相談時間：13:00～16:00）

※要予約会場については、相談日前の平日17時15分までに予約してください。

※法律相談の申込件数が多数の場合は、受付終了時間前に受付を締め切ることがあります。ご了承ください。

## お知らせ 子どもの緊急救命に関する講習会を開催します

子どもに起こりやすい病気の看病や事故の応急手当のしかたについて学びませんか。

【日時】1月31日（木）13:30～14:30

【場所】川之江ふれあい交流センター 2階 和室  
※託児スペースあり

【内容】・乳幼児の心肺蘇生とAEDの使い方  
・子どもの看病と手当のしかた

【講師】赤十字幼児安全法指導員

【対象】・ファミリーサポートセンター会員  
・子育てに関心のある市民の皆さん

【定員】20名

※動きやすい服装でお越しください。



【申し込み・問い合わせ】四国中央市ファミリーサポートセンター TEL 28-6150

## 報告 平成30年度全国社会福祉大会が開催されました

11月22日（木）メルパルクホール（東京都）で開催された「平成30年度全国社会福祉大会」におきまして、以下の方々が、長年にわたる福祉向上の功績が認められ、表彰を受けられました。（敬称略）

## ■厚生労働大臣表彰

◎民生・児童委員 武村 俊子

◎共同募金奉仕功労者 秋山 明生

## ■全国社会福祉協議会会長表彰

◎民生委員・児童委員功労者 井上 恵子

◎社会福祉協議会・民間社会福祉団体功労 藤原 邦彦

◎社会福祉協議会優良活動 川之江地区社会福祉協議会

## ■中央共同募金会会長表彰

◎奉仕功労者 高橋 厚徳



## 報告 まごころ銀行報告（11月1日～11月30日） ご寄付ありがとうございました

団体 金光教川之江教会様

チャリティーバザー収益金

32,830円

## 『まごころ銀行』とは

市民の皆様の善意の預託（寄付）をお預かりし、福祉活動の向上のために役立てるしくみです。市社協への預託のほか、預託者の希望による地区社協への指定分については、法人会計を通してそのまま地区社協へお渡しし、地区における福祉活動に活用されています。

【預託内容】チャリティー募金、バザー等の売上金、香典返しなど

【預託方法】四国中央市社会福祉協議会（本所・支所）の窓口で受付しています。

ご芳名や預託内容等につきましては、預託者のご意向に沿って、機関紙「社協だより」に掲載させていただきます。【問い合わせ】社会福祉協議会 総務・地域福祉課 TEL28-6127

※まごころ銀行に預託いただいた際にお渡ししました領収書は、確定申告時の控除を受けるために必要となりますので大切に保管して下さい。

次回の社協だよりの発行は



2月号



の予定です。